第２回　琴平町立統合小学校・統合認定こども園準備委員会　議事録

１　日　時　令和８年 10 月 16 日（金）
　　開会：19 時 00 分　閉会：19 時 30 分

２　場　所　琴平町総合センター２階　大ホール

３　出席者　【委　員】27 名中　25 名出席

【事務局】（教育委員会　学校等整備推進室）
室長　真鍋　聡、主幹　西岡敏
室長補佐　並木幸司、室長補佐　大西孝幸
技師　川原聡明
（教育委員会　教育総務課）
主幹　萱原　正己、主任指導主事　尾﨑　純一
（子ども・保健課）
主任主事　矢野　順子

４　傍聴者　なし

５　議　事　（１）　開会あいさつ
（２）　各部会からの報告
（３）　琴平町への中間報告について
（４）　閉会の挨拶

【委員長】
皆さんこんばんは。
ただいまより、第２回目の琴平町立統合小学校・統合認定こども園準備委員会を開催したいと思います。
第 1 回目は、5 月 20 日に開催をしました。そこから約 5 ヶ月が経ちました。その間に、総務・通学・子ども園の各部会において、検討を進めていただきました。
本日はその内容の報告及び質疑として本会を進めていきたいと思っています。よりよいものを作っていくために、ご意見をいただき、部会の方に持ち帰れるものは、また持ち帰っていただく。ともに現段階で町の中間報告ということで報告できるものはしていきたと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
それでは、次第に沿っていきたいなと思います。各部会からの報告ということで、まず、総務部会さんよろしくお願いいたします。

【総務部会長】
総務部会のこれまでの検討結果と現在の進捗状況について説明します。
初めに今年度の達成目標ですが、
校名は、決定まで。
校章は、校名決定後の協議。
校歌は、作成方法の決定まで。
制服は、制服の決定及び移行期間の決定まで。
この４項目の協議を進めております。

協議日程には、第 1 回、令和 8 年 6 月 25 日。第 2 回が令和 8 年 7 月 24 日、第 3 回令和 8 年 9 月 11 日、第 4 回は令和 8 年 11 月 13 日予定です。

各会の検討内容と経過についてです。
第 1 回。部会の検討事項と今年度の達成目標についての確認及び今後の検討方法の協議を行いました。
第 2 回。校名アンケートの実施や校歌の作成方法、制服アンケートの実施案について協議を行いました。
校名アンケートについては、未就園児保護者、各こども園・小学校・あかね保育園の保護者、町民、そして 3 小学校の児童を対象に、2 次元コードを用いて実施することを決定しました。期間は令和 8 年 8 月 4 日から 8 月 31 日までとし、漢字「琴平」、ひらがな「ことひら」の候補名 2 つのほか、自由提案の枠を設けることとしました。

校歌の作成方法については、「公募による募集」「識者への依頼」「制作会社への依頼」などの案が出ましたが、児童との共同作成や地元の識者の関わり方等について慎重に検討するため、次回へ持ち越しとなりました。

制服アンケートについては、16 問あった設問をよりシンプルに少なく修正する方向で検討し、こちらも次回へ持ち越しとなりました。

第 3 回。校名アンケートの集計結果報告、制服アンケート内容、校歌の作成方法について協議を行いました。
校名アンケートの集計結果については、児童・一般を合わせた総数 412 件のうち、「琴平町立琴平小学校」が 203 件（49.3%）、「琴平町立ことひら小学校」が 104 件（25.2%）、その他が 105 件（25.5%）となりました。この結果を尊重し、統合小学校名は「琴平町立琴平小学校」に仮決定いたしました。

制服のアンケート内容について、「制服の要否」「形状の選択（折衿・セーラー服、ブレザー、イートン）」「体操服の要否（中学校スタイルとの統一化）」などを盛り込んだ内容とし、対象は保護者層、実施方法は 2 次元コード読込で、期間を 9 月 15 日から 10 月 6 日までとして実施することを決定しました。

校歌の作成方法について、児童等の意見を聞くことや、各校からワード（言葉）を提出してもらうこと、識者にも協力してもらうことなどの意見が出ましたが、引き続き検討事項として次回へ持ち越しとなりました。

第 4 回 11 月 13 日予定の部会では、実施した制服アンケートの集計結果の報告を受けるとともに、校歌の作成方法や、新しく「校章の作成方法」についての協議を行っていく予定です。
以上です。

【委員長】
ありがとうございました。
総務部会から検討結果の報告をしていただきました。質問等ございませんか。
続いて通学部会よろしくお願いします。

【通学部会長】
通学部会のこれまでの検討経過と、現在の進捗状況についてご説明いたします。
検討事項と年度内の達成目標ですが、
通学ルートは、主となる通学ルートの決定と、危険箇所の洗い出し。
通学支援は、具体的な通学支援方法の決定。
この 2 点の完了を目標として掲げ、これまで協議を進めております。
日程につきましては、6 月 29 日、9 月 14 日、11 月 10 日を予定しております。

それでは各会の検討内容と結果についてご報告します。
第 1 回通学部会 6 月 29 日に開催しました今後の進め方について確認を行いました。
通学ルートについてですが、児童によって通学ルートがそれぞれ異なるため、部会が一律で特定のルートを決定するのは適切ではないという結論に至りました。そのため、実際のルート上の危険箇所を広く把握するため、保護者の皆様等を対象としたアンケートを実施することといたしました。
※アンケートは、未就園児保護者や各こども園、小学校の保護者を対象に、2 次元コードを活用して、7 月 20 日から 10 月 30 日までの期間で実施しております。
通学支援についてですが、統合小学校から半径 2 キロメートル以上の児童の調査や、民間等の既存サービス（琴平バス株式会社の「mobi」など）の活用可能性について調査を開始し、次回以降へ持ち越しとしました。

続きまして、第 2 回通学部会。実施中のアンケートの経過報告と、通学支援の具体化に向けた協議を行いました。
まず、アンケートには 27 件の回答が寄せられ、主に次のような切実なご意見が多く集まっております。
紹介します。1 つ目、「信号、横断歩道歩道橋の設置要望」
国道 319 号線や県道 206 号線など、交通量が多くスピードが出やすい道路において、押しボタン式信号機などの設置を求める声が多数ありました。また、「青信号の時間が短く、低学年が渡りきれないのではないか」という懸念もあがっています。

2 つ目です。「通学距離とスクールバスの必要性」
統合に伴い、通学距離が「徒歩 20〜30 分以上」と遠くなる世帯が多く、近年の猛暑や長距離歩行に対する安全面から、スクールバスの運行を求める声が複数見られました。

3 つ目です。「歩道の狭さとインフラの安全性」
歩道がない、あるいは狭くて危険というご意見に加え、カバーのない用水路や、見通しを悪くしている私有地の生垣の剪定を求める声が寄せられています。
また、通学支援につきましては、アンケート結果を踏まえて具体的な検討に入っております。
一例として、「統合小学校より半径 2 キロメートル以上の全児童を対象に、登校時は貸切車両（タクシー）で北コース・南コースを運行し、下校時は『mobi』を利用する」という案について協議を行いました。
主な意見として、他のスクールバスを運用している学校では、バス停留所への保護者送迎や教員の出欠確認の負担が大きく、結果的に保護者が学校まで送迎している事例があることなどが挙げられ、教員や保護者の負担を考慮すると「mobi」の導入には検討余地があるものの、車両の台数等が今後の課題となっています。

第 3 回は 11 月 10 日に開催する予定です。
第 3 回では、アンケートの最終結果をしっかりと取りまとめるとともに、通学支援の具体的な方向性についてさらに協議を深めてまいりたいと考えております。
通学部会からの報告は以上です。よろしくお願いします。

【委員長】
ありがとうございました。ただいまの通学部会の報告に対して何かご質問等ございますでしょうか。
それではこども園部会よろしくお願いいたします。

【こども園部会長】
まず、検討事項と年度内の達成目標についてです。
園名については、決定まで。
園章については、園名決定後に協議。
園歌については、作成方法の決定まで。
制服については、既に決定済みです。
開催日の日時については、小学校部会と歩調を合わせて実施をいたしました。

各会の検討内容及び決定事項です。
第１回のこども園部会では、こども園の名称の決め方について話し合いをしました。
検討事項としては、園名の名称は中心ですが、保護者会の内容の見直し、式典をどうするか、或いは通園等についてもお話し合いをいたしました。
決定事項としてはアンケートの仕方です。このときは、1 回目を実施し、後に上位候補を挙げて２回目をしてはどうかということでした。

第３回。アンケートの具体について検討しました。
小学校部会のアンケート方法を参考にしました。

第３回。園名、園歌について検討しました。
結果については、自由記述ですので様々な候補が挙がっております。
その中で一番多かったのが、漢字の『琴平こども園』が 26.5%、次がひらがなの『ことひらこども園』が 18%。3 位が、『こんぴらこども園』で 13.1%でした。
併せて、園歌を作成するかどうかということについてもアンケートいたしました。1 位は『どちらでもよい』で 40.9%、『作成したほうがよい』が 30.8%、3 位が『作成しなくてもよい』で 20.8%となっております。
これらの結果を受けまして、園名は、漢字の琴平こども園が、アンケートの一番でもありますし、小学校、中学校との統一感もあるので、候補として挙げてはどうかということに決まりました。
それから、園歌については、統合こども園に対する、新しい園長さんの経営方針や、それから職員の意識なども鑑みて、今後の関係者で協議を進めていく。ということになりました。
第３回をもって、今年度果たすべき話し合いについては、結論が出ましたので、第４回の開催は予定しておりません。以上です。

【委員長】
ありがとうございました。質問等ございますか。

それでは簡単にまとめさせていただきます。
アンケートの結果を尊重・重視し、統合小学校が漢字の『琴平町立琴平小学校』、こども園が【琴平町立琴平こども園】で、各部会の方から提案されております。次回に持ち越しの議題もあったかと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】
あまり面白みがないかなあと。何となく芸がないかなあという感じがします。
先ほど東大総長が女性に決まったんですけどもあれ投票結果ではありません。
投票結果では倍ほどの差がありました、しかし、どういう理由か分かりませんが、女性に決まりました。これで言うと、アンケートは多いけれど、アンケートだけで決めていいのかなという気がしていますが。いかがでしょうか。

【委員長】
今のご意見について何かございますか。はい。お願いします。

【総務部会長】
総務部会では、意見を出し合ってアンケートの結果を尊重するとなりました。

【委員】
良い悪いを言っているわけではありません。もう少し考えてもいいのではないかなと。
特にこども園の場合は、もっとやわらかい感じの方がいいかなという感じがしましたので提案しました。

【委員長】
ありがとうございます。ご意見として頂戴しておいたらいいものなのか、それとも何か案があってのご意見なのかいかがでしょうか？

【委員】
今この中でこども園の場合ですが、例えばですけども、『琴平』と『なかよし』を使った『琴平なかよしこども園』とか、こういったイメージをちょっと長いですが、つけ足した方がいいのかなという感じがしました。
それは、『仲良し』でなくてもいいですが、他にも『わくわく』とか幾つかありますね。そういうのをプラスして、『琴平なかよし』とか『琴平のワクワク』とか、そういう感じをつけた方がこども園の場合はやわらかいかなという。印象を持ちました。

【委員長】
そうですね。ご意見として頂戴するという形でよろしいでしょうか。
こういったご意見が頂戴したということを含めて、町への報告という形でよろしいでしょうか。他にご意見等ございませんか。
まだまだ、各部会で協議をする内容がたくさんあると思います。
最初に年度内の達成目標の説明がありましたが、年度越しの内容もたくさんあると思います。
今年度内ですべてが決まるっていう状況でもないと思いますので、今後も部会の方で協議を進めていただきたいと思います。
議題の３番ですが、町への中間報告ということで、先ほどの学校名、それからこども園名、いただいたご意見も含めて報告させていただくという形でよろしいでしょうか。
はい。それでは今後とも部会の方でよろしくお願いいたします。
事務局の方から何かございますか。

【事務局】
事務局の方からです。
皆さんにご心配をおかけしています、建設工事の現在の進捗状況について説明をさせていただきます。
現在の建設予定地に草が生えていますが、造成工事は完了しております。
建設工事ですが、7 月 29 日に第 1 回の入札が行われました。ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、不落という形で、まだ決定しておりません。原因としては、最近の物価高騰を原因とした資材の高騰により、金額の差があったということで、入札できておりません。

そこで、設計の見直しをして、建設工事費を上げることとなりました。
上がった工事費に関して、今週の火曜日、10 月 13 日に臨時議会があり、予算の承認をいただいています。
今後のスケジュールですが、来週に入札業者を募集する公告を行い、12 月の初旬に入札を行います。落札業者が決まりますと、12 月に議会がありますので、契約の締結を行いまして、実際に工事ができるのは１月からということになります。
最初の予定より、４、５ヶ月遅れておりますが、当初予定の令和 11 年４月の開校・開園には間に合う工期で進んでおりますので皆様にご報告させていただきます。以上です。

【委員長】
今事務局の方から工事等の進捗についてのお知らせがありましたが、他に質問等ありませんか。

【委員】
本当に学校ができるのか。ということを多数の人に聞かれています。本当に計画通りできるのかを知りたい保護者もたくさんいらっしゃいます。ですので、何かの方法で報告は必要だと思います。

【事務局】
報告できること、決まったことに対して町の広報やホームページに掲載し、報告したいと考えています。

【委員】
1 点質問ですが、私の他学校で経験した話ですが、校舎が建った後に、放課後児童クラブの環境が整わない。ということがありました。予算の都合でいろいろあったらしいです。琴平町の場合は、その本校舎とともに、放課後児童クラブへの対応というのはどのように考えていますか。

【委員】
現在の計画では、放課後児童クラブ棟を同じ敷地内に別棟で建設予定としています。
今回工事に含めて発注予定です。

【委員長】
建設事業の方も進んでいるとのことでしたので、この準備委員会も同様に進めることがすごく大事なことかと思います。
本日は皆様のおかげで議事通り進めることができました。以上をもって第２回の琴平町立統合小学校・統合認定こども園準備委員会を終えたいと思います。どうも、ありがとうございました。